

# Phak chii

30年 1月号

## 朴廷熙公認会計士事務所

〒542-0081

大阪府中央区南船場 1-16-10 大阪岡本ビル5階

電話：06-6264-6135 FAX：06-6264-6136

年末は28日まで、年始は5日より営業。



明けましておめでとうございます。

今年は何年。日本で一番有名な犬といえば「忠犬ハチ公」でしょうか。犬は恩を忘れないといひます。私達も日頃お世話になっている方々への感謝を忘れずに、今年も皆様にご満足頂けるよう、日々、精進して参りたいと思ひます。今年もどうぞ宜しくお願ひ致します！

## 事業承継税制が利用しやすくなりました

平成二十九年度の税制改正で、事業承継税制（非上場株式に関する贈与税・相続税の納税猶予制度）の見直しがありました。今回の改正では「雇用要件の見直し」と生前贈与の税制優遇強化がポイントになります。

これまで事業承継税制の適用を受けるには、従業員数を5年平均均で80%維持する必要があるとありました。しかし、小規模な企業では従業員が4〜5人のところも珍しくありません。

例えば4人の従業員が3人にな



れば75%になってしまいます。昨今の深刻な人手不足の状況下で、特に小規模な企業が従業員数を維持することは大変難しく、事業承継税制の適用は高いハードルでした。そこで今回の改正では、小規模な企業でも事業承継税制を活用しやすくなるように、従業員5人以下の場合には1人減っても適用ができるようになりました。また従来は贈与税の納税猶予の適用を受けていても、その猶予期間中に雇用などの要件を満たせなくなると適用は取り消され、高額な贈与税を支払う必要がありました。が、今回の改正で相続時精算課税制度との併用が認められるようになりました。相続時精算課税は贈与額のうち最大2500万円までを控除でき、控除額を超えた場合も超えた金額の20%の贈与税を納めればよいので、贈与税納税猶予が取り消しになった場合の負担が軽減されることとなります。

## オイシイ! 200%トマトジュース



特急しまかぜに乗って賢島へ行ったときに購入したトマトジュース。150ml で1080円という価格設定。2016伊勢志摩サミットでG7首脳陣にも提供されました。果汁100%ジュースはよく見えますが、200%とは一体どういうことだろうと興味本位で購入。高価なのに店頭で2本しか残っていませんでした。名前の由来は完熟トマトを低温で7時間以上じっくり半分になるまで煮詰めるから200%。半分だから50%ではありませんよ。お味は特濃の上を行く、極濃・極甘な逸品でした。李

## 今月の教えてキーワード：【サブスクリプションモデル】

提供する商品の数ではなく、利用期間に対して対価を支払う方式のこと。月額制や年額制などの料金モデルがこれにあたる。音楽の配信サービスにおいて、1曲ごとに販売 課金するのではなく毎月、定額料金を払えば期間内はいくらでも自由に音楽を楽しめるサービスが代表的な事例となる。Adobe、Microsoftなどのソフトウェア企業でもサブスクリプション型の導入が増えており、次世代のビジネスモデルとして注目を集めている。

## 【商売はケ・セラ・セラ】

ヒッチコック監督のサスペンス映画『知りすぎている男』では、ドリス・デイの歌う『ケ・セラ・セラ』が物語のラストに向けた重要な糸口になっていました。「大きくなったらきれいになれる？ お金持ちになれる？」そう尋ねる女の子にママや学校の先生は言います。「ケ・セラ・セラ、なるようになる」。大人になると恋人にも聞きます。「幸せな未来が待っているの？」。恋人の答えも「ケ・セラ・セラ」。彼女が子どもを授かると、今度は子どもが尋ねます。「私はきれいになれる？」。「ケ・セラ・セラ、先のことなんて分からない、なるようになるわ」。小気味よいストーリーも巧みですが『ケ・セラ・セラ』はそれ以上の印象を残して映画は幕を閉じます。



「一休さん」の愛称で親しまれた一休和尚は遺言状を書いてこの世を去りましたが「大きな問題が起こるまで決して読むな」と言い残したそうです。弟子の僧侶たちは教えを守り、遺言状が開封されたのは一休和尚の死からしばらく経ってからのこと。大きな問題に直面していた僧侶たちがすすがる思いで開いた遺言状には、こう書かれていたそうです。「なるようになる。心配するな」。とんち好きだった一休和尚らしい逸話です。

「なるようになる」といえば、沖縄の方言の「なんくるないさあ」が思い出されます。「なるようになる」とか「なんとかなる」という意味で知られていますが、沖縄の人に言わせると、生きていく辛さの中から生まれた深くて力強い言葉だそうです。ままたま世の中でも私たちは生きていかななくてはなりません。でも、誠実に真剣に生きていけばきっとうまくいく。それを信じる気持ちが「なんくるないさあ」なのでしょう。時代の変化のスピードは加速度を増し、商売のやり方も人の考え方も変わってきました。「今しかない」といいますが、本当になんとかできるのは、まさに「今の自分」のことだけでしょう。

商売に正解はありません。うまくいかないときも「なるようになる」の精神で、今の自分にできることに集中したいものですね。

## 事務所開設 30 年—感謝の日々

事務所開設 30 年間の皆様への感謝の気持ちを、僅かばかりではありますが込めさせて頂いた忘年会を無事に終え、また新しい1年が始まります。今日という日を大過なく迎えられましたのも、関与先の皆様を始めとする全ての方々のお陰であると、改めて感謝いたしております。30年前とは雲泥の差である体力の衰えは仕方ありませんが、気持ちは萎えることなく新たな一歩を踏み出します。皆様の発展のお役に少しでも立てますように、所員一同邁進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

朴廷熙公認会計士事務所

所長 朴廷熙

